

「6-1 情報モラル教育とは」の教材分析ワークシート

[つかむ(1)] 選んだ事例や教材の出典 ：	

[つかむ(2)・教材分析①] どんな問題が起こったのか 1-2 行程度で簡潔にまとめよう：	









[つかむ(3)・教材分析②] どうしてその問題が起きたのか，その原因やその問題を引き起こした具体的な行動を箇条書きであげよう。	[教材分析⑤] 判断に必要な構造や要素

[教材分析③] 上記 [教材分析②] 欄に書いた原因や行動をまとめて，「～やってはいけない」「～するのをやめよう」と表してみよう	

[教材分析④] 上記 [教材分析③] 欄に書いたことを反転させ，もう少し大きくとらえ，「～するにはどうしたらよいのか?」「～するときに気を付けることを考えよう」等書き換えてみよう。	

[教材分析⑥] 上記をもとに，問題を起こさないためにどんなことに気を付けたらよいか，どんな目標を立てたらよいかをあげよう。（上記 [教材分析④] 欄の「～するにはどうしたらよいのか?」等に対する答え）	

「6-1 情報モラル教育とは」の授業プラン用ワークシート

本時の学習目標 児童生徒に身につけてもらいたい・知ってもらいたい・できるようになってもらいたいことを決めて，具体的に説明しよう。
学習の流れ
【Step1：課題をつかむ】 1. 本時の課題を理解する（教材分析④） ▼児童生徒が上記の「本時の学習目標」を達成するための問いかけ（主発問）を考えよう。
【Step2：原因を追究する】 2. 教材を視聴する 3. どんな問題が起こり，どうしてその問題が起きたのか原因（教材分析②）を追究する。 ▼そのための教師の発問と予想される答えを書こう。 ＜どんな問題が起こったかを尋ねる教師の発問＞ <div><div></div></div> ＜★予想される児童生徒の答え＞ <div><div></div><div></div></div> ＜どうしてその問題が起きたのかの原因を追究するための教師の発問＞ <div><div></div></div> ＜★予想される児童生徒の答え＞ <div><div></div><div></div></div>
4. 問題を解決する / 問題を起こさないために必要な判断の要素を理解する（教材分析⑤） ▼問題を起こさないために必要な判断の要素に対する教師の説明を書こう。
【Step3：気を付けることをあげる・個人目標を立てる】 5. 児童生徒自身が問題を起こさない対策を考えたり，個人目標を決定したりする（教材分析⑥） ▼児童生徒自身が考える，対策や個人目標を予想して書こう。 ＜★予想される児童生徒の答え＞